

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

12月2日現勢 組合員 9,848名
機関紙 5,988部
年金改善署名 72,287筆



神奈川県版 第267号 2010年12月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和157年6月30日第三種郵便物認可

12月14日 1万人達成祝賀会を予定

目標達成へ韋駄天走り

県本部1万人を目指す秋の仲間づくり月間は、12月2日現在9848人で、あと1522人に迫り、目標達成支部は20支部に、11月30日、支部代表、県本部執行委員合同会議で田島委員長が「9830人に到達し1万人まであと170人。14日まで月間を延長し1万人をやりきって、1万人達成祝賀会」を迎えよう」と提案しました。

「組合に入って1年。私も連日努力、昨晩も知人を訪ねて増やし、目標を達成しました」(座間支部)。そのほか麻生、鎌倉、茅ヶ崎、寒川、戸塚と達成支部の元気発言が続々。未達成の海老名、宮前支

部など、残りを持つ支部も役員が先頭に必ずやりきるぞと約束し、全国2番目の組織1万人に向け韋駄天走り。火の玉になって14日の祝賀会まで奮闘しています。(土志田県書記長)

全役員が気迫の取組で 目標3000人を突破

31人を拡大した港南支部

港南支部は秋の仲間づくりでなんと3000人の組織作りを成功させると、固く決意しました。目標は30人です。取り組みを前にした9月、支部長が渾身の訴えを全組合員に届け、町ごとに到達目標を設定するなど綿密な計画を立てました。30人の目標は大きい山に見えるが、10月29日の支部総会までに半数の15

人。11月15人と分ければ先が見えてくる。「よっしゃやろう」と23人の役員も決意しました。9月からほぼ毎週推進FAX等で支部の取り組みが、素早く知らされます。10月は毎週拡大が続き、支部総会までの目標を突破して16人増になりました。地域ごとの拡大では、港南台3人目標が10人。笹下

福祉関係団体が協力 安心年金つくろう会

県年金学校で立ち上げ提起

年金者組合、全厚生(厚労省の労組)、神奈川県労働組合連合会などが実行委員会を作り、年金問題を広く考える「第3回かながわ年金学校」が11月23日、建設プラザで開校し、33団体62人が熱心に受講しました。授業の初めは寸劇で、年金制度の問題点を分かり易く指摘しました。唐鎌元専修大学教授は、貧困高齢者が大量に存在する中で、政府が全額負



県事務所には次々に目標達成のピラが貼られる

輝け高齢期 かながわのつどい 岩手県西和賀町 高齢者医療費10割給付に感動

神奈川県高齢期運動連絡会が主催する「第6回輝け高齢期かながわの集い」が11月17日、川崎市産業福祉会館で開かれ、年金者組合員をはじめ県外から59団体、365人が参加しました。

この日の目玉は、岩手県西和賀町(旧沢内村)「ワークステーション 湯田・沢内」施設長高橋典成氏の記念講演で、高橋さんは沢内方式として、全国に名高い「生命を大切にす行政」の真価を示した老人医療無料化は、故深沢晟雄村長の信念と村民、特に女性の強い支持のためのもので、1960年全国に先がけて、65歳以上の国保10割給付を実施、翌61年には1歳未満と60歳以上に拡大、62年には早くも乳児死亡率ゼロを達成。「豪雪・貧困・多病多死」の村



を再生させた偉業が引き継がれていることを語り、深い感動を呼びました。講演のあとは得意のうたごえや舞踏など楽しいひとときを過ごしました。(川崎みなみ支部・加藤)

横浜敬老パス 値上げ提出断念

市はアンケートで値上げ誘導

年金者組合などが加わる「敬老パス負担増を考える連絡会」による、現状維持を求める署名3万3千筆余などの市民運動の高まりによって、横浜市は、9月市議会への見直し改悪案提出を断念しました。しかし、来年10月実施を焦る横浜市は、低料金で過剰なサービスによって、市費の負担



第3回 かながわ年金学校 主催:「かながわ年金学校」実行委員会 2010年11月23日

近藤弁護士から日本年金機構の職場の実態が報告される。最低保障年金制度の早期実現が極めて重要であることを強調しました。

1月18日(火) 県本部委員会と11年旗びらき 1万人秋の仲間づくりのまとめ、11年春の運動方針を決める第61回県本部委員会が1月18日(火)13時30分から建設プラザで開かれます。17時から「11年県本部旗開き」を開催。多数の参加を。

告知され、消えた年金処理でもベテラン職員が退職し、事務処理が外注化されるなど、国民の財産である年金を守る状況にない実態が報告され、政府に対する怒りが上がりました。事務局からは、高齢者が心配なく暮らせる年金制度を表現するために「安心年金つくろう会」結成に向け、共同闘争を強める方針が提起され、参加者全員で確認しました。(土志田県書記長)

組合員が没後も仲良く共同墓地

富士山を望む南葉山霊園が有力

県本部建設委員会が再度現地調査

今年度定期大会の決定により県本部共同墓地建設委員会は9、10月に4カ所の墓地を見学し、立地と景観、交通、設備などについて「南葉山霊園」(横浜市)を有力候補地として内定。11月15日再度現地調査を実施しました。



葉山佐島港が見える広々とした斜面

「元ゴルフ場」でソテツの木が茂る南斜面、眼下に佐島港が見え、天気がよければ富士山も望める広々とした霊園です。現地調査には田島委員長、土志田書記長を含め11人が参加しました。現地施設内で1時間半にわ

た元ゴルフ場が茂る南斜面、眼下に佐島港が見え、天気がよければ富士山も望める広々とした霊園です。

社会保障運動のセンター

神奈川県社保協が再建記念式典

県社保協再建15周年記念誌発刊レセプションが11月27日、44団体72人参加で開催されました。1959年に結成された県社保協は、県評が社保協から撤退し、80年代以降開店休業状

までしたの声を大きな拍手がわきました。仲間増やしの話題に入り、大貫会長の訴えを読んだあと、支部交流に「さわやか」に参加した方でも加入だった人に声をかけ、3人が加入を約束してくれたと厚木支部。仲間づくりは女性が得意。サークルで楽しく増やしている旭や保土ヶ谷支部。男女一緒に車で回り増やしていると座間や麻生支部。それぞれが1万人目指して頑張る決意をあらたにした会談でした。(大蔵敦子)

「さわやかな女性つどい」

力を合わせて大成功 なかまづくりにも大きな力

10月28日に行われた「さわやかな女性つどい」を受け幹事と実行委員会同の総括会議が11月24日に開かれました。各支部の女性の

点を出し合いました。だれもがジェームス・三木の講演はユーモアもまじえてとてもよかったです。各支部の出しものもバラエティに富んでいて、日頃の練習の成果が出ていてよかったです。食事時間エ

各支部の女性の報告、輝け高齢期や働く女性の中央集会の報告は手短かに済ませ、メインの「さわやか」の感想や反省

戸塚支部支部執行委員会では、共同墓所の議論で15人中5人が「入りたくない」と表明し、港南支部からは調査に組合員2人が参加しました。建設委員会は急ピッチで企画立案を進めて居ますが、土木やデザイン・名簿管理・法律・広報などの専門的知識が必要で、幅広い組合員の協力を求めています。(山本事務局長)

旅が出来るほどの幸せ

鎌倉支部がみちのくの旅

鎌倉支部は11月12・13日、恒例の東北の旅へ。総勢27人を乗せバスが、最初の観光地みちのく史跡「信夫文知榎石観音」



に到着した時は日が傾きかけていました。座り疲れた私たちの目の前に現れたのは荘厳な多宝塔を取り囲む緑、黄、橙、紅が重なった息を飲むほどの美しい紅葉。その下で御住職が話された「豊かではなくとも旅が出来るほどの幸せ」は心に響きました。その後の悪路でかいた冷や汗は乳白色の温泉で流し、宴会は大盛況。翌日は五色沼を散策、喜多方ラーメンに舌鼓を打ち帰路に。2人の仲間も増えた楽しい旅でした。



神奈川年金者文芸 (俳句) 金沢支部 山田 幸雄 師走家は火の車大風吹くな 阿部 和子 空掃いて音なく月は鬼瓦 横浜緑支部 吉田 一夫 大屋根に鶴の遊ぶ神無月 坪井 稔恭 降誕の星に九条共に在れ (川柳) 横須賀支部 山田 良夫 秋うらら野球少年声はずむ 平塚支部 高橋 福松 車椅子乗って監督授賞式 今年もか懐かしい師走風 旭支部 本間鈍根花 海鳴りに無事祈る母夜深し 寺田 公明 一票のあまりに軽いわが神奈川 旭支部 毛利やすひこ

世界遺産アンコール遺跡

カンボジア6日間の旅

1月27日~2月1日、残り5人に

神々の世界へといざなう石造大寺院など、かつての繁栄ぶりを物語る世界遺産アンコールワット。メコン川とトンレサップ川の交わる地点、東洋のパリと言われたプノンペン。町も輝きを取り戻しました。そしてトレンサップ湖のクルーズ。神奈川県本部ならではの「アンコール遺跡とカンボジアの旅」6日間。皆さんのご参加をお待ちします。

◆◆◆
とき/1月27日(木)~2月1日(火)6日間
定数/25人(あと5人)
旅行費用/15万9千円
空港諸税1万2千円
申込み締切/12月27日(月)
県本部・担当松永まで(問い合わせ:案内チラシも) 企画・県本部「海外を探訪する会」 実施・(株)富士国際旅行社

新年号 巻頭の写真

力作の応募を お願い

締切:12月24日

2011年1月号1頁に掲載する「お正月の写真」を公募中です。締め切りは(延期して)12月24日(金)、神奈川県本部必着とします。カメラ愛好家の応募をお待ちします。

冬の夕餉は鍋が王様

自慢のなべを紹介して

冬の夕餉はなんといいですね。でも「鍋」がいいですね。その「鍋」は多種多様。そこで「我が家の自慢の鍋」を紹介してほしいの味よし、経済的でだれでも出来る。おすすめ材料、造り方をコンパクトにまとめて、投稿してください。宛先は神奈川県本部宣伝部、FAXかハガキでお願いします。1月掲載。